

堤防及び旧岡田倉庫の整備案について

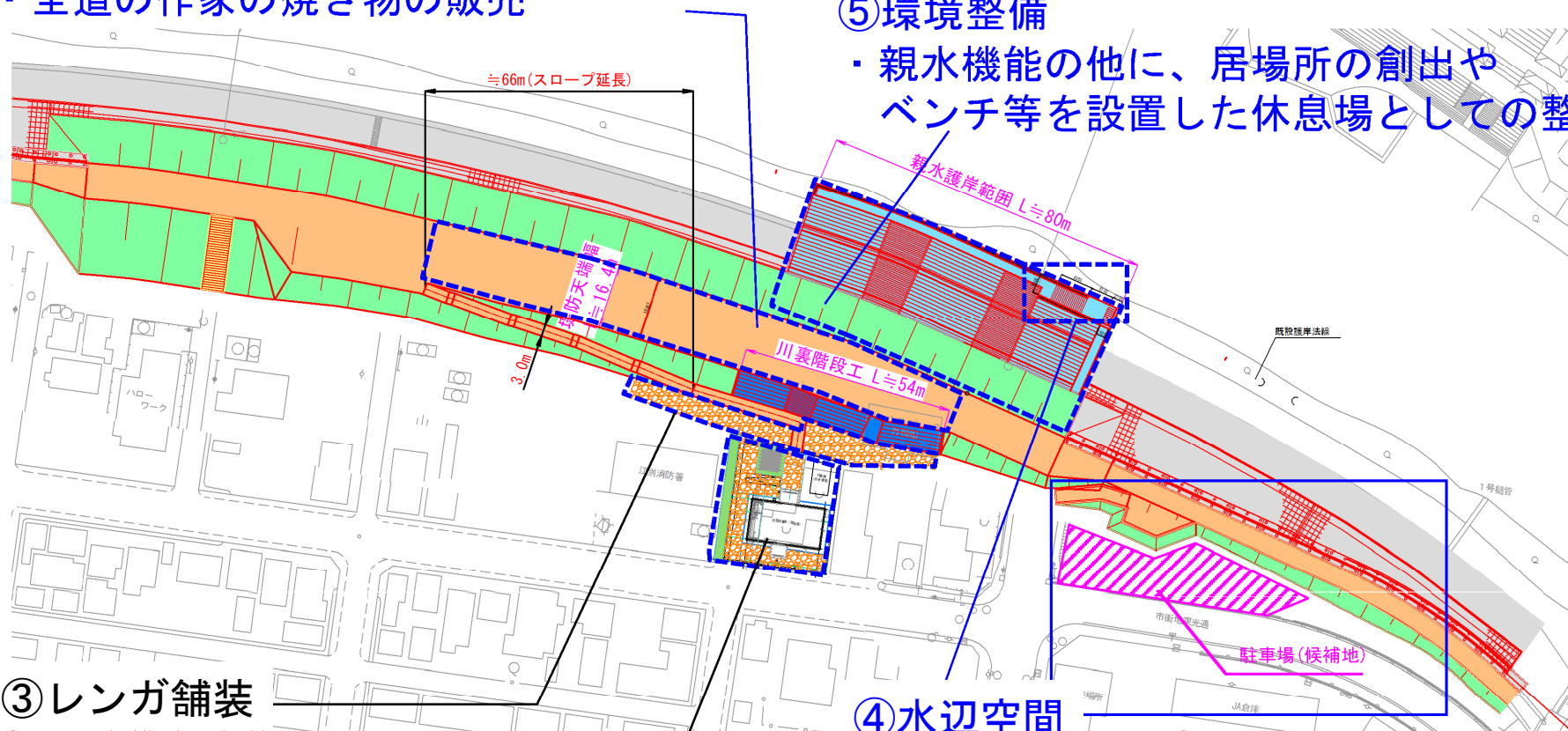
千歳川左岸堤防の整備イメージ

① イベント広場

- ・ 様々なイベントを実施できる空間の創出
- ・ 周辺住民の他、様々な世代の人がふらっと訪れることができる場
- ・ 全道の作家の焼き物の販売

⑤ 環境整備

- ・ 親水機能の他に、居場所の創出やベンチ等を設置した休息場としての整備



③ レンガ舗装

- ・ 地域性を持った素材を利用
- ・ 江別の歴史を記憶に残していく

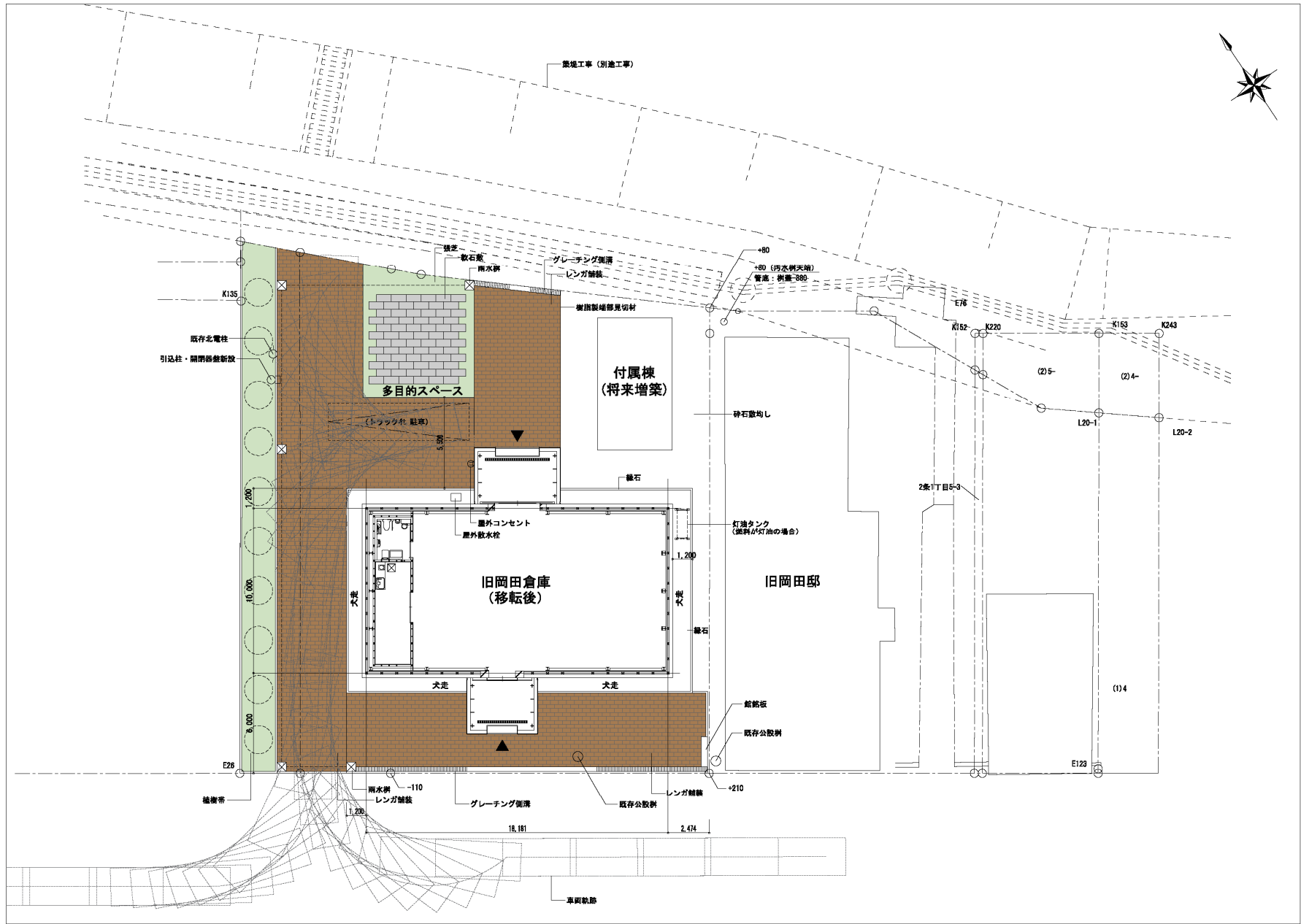
② 外輪船及び母屋

- ・ 歴史的建造物の保全、活用

④ 水辺空間

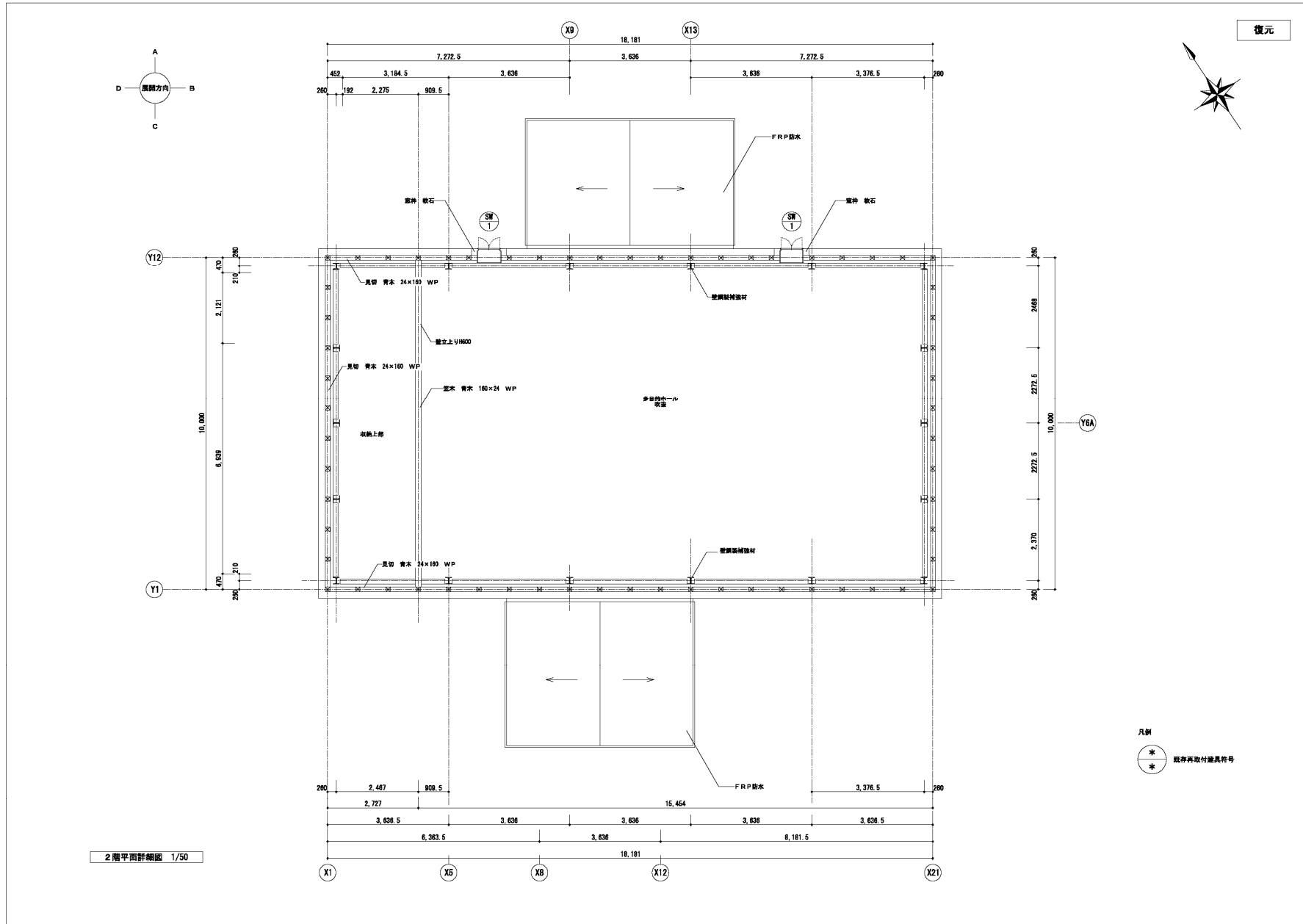
- ・ カヌーポートの設置
- ・ 船を利用し対岸側への移動、通勤
- ・ 子供たちが川の楽しさ、こわさを学べる場の整備

旧岡田倉庫（外輪船）周辺の整備イメージ

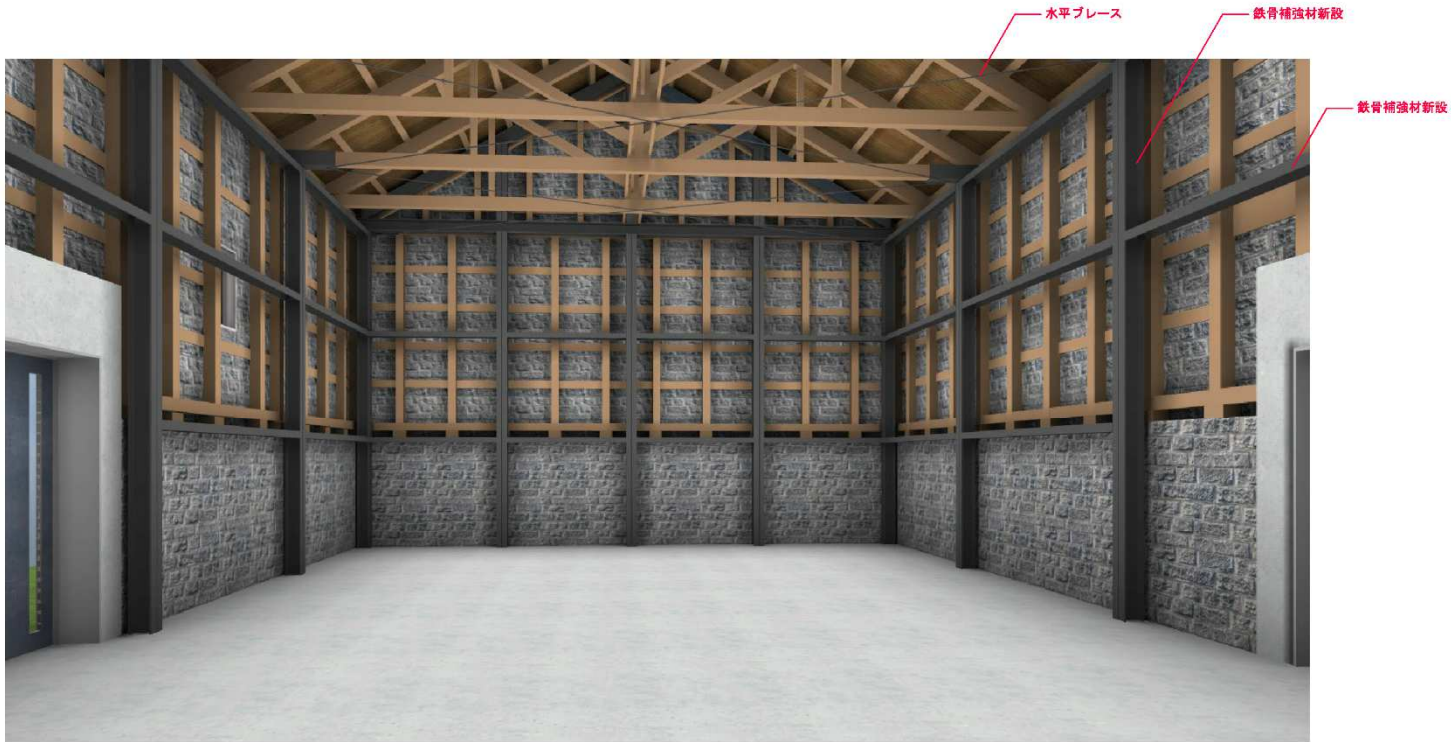




旧岡田倉庫（外輪船）周辺の鳥瞰



旧岡田倉庫（外輪船）の内観イメージ



復元内観イメージ



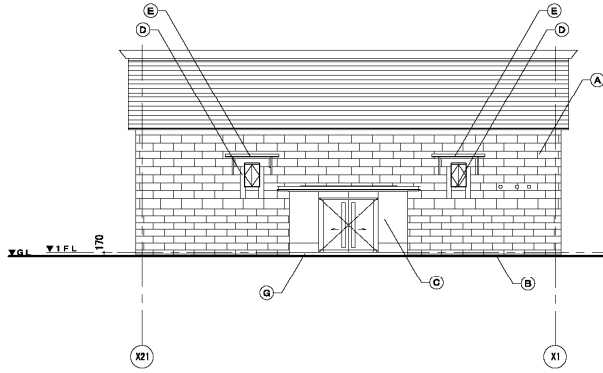
現況内観写真1



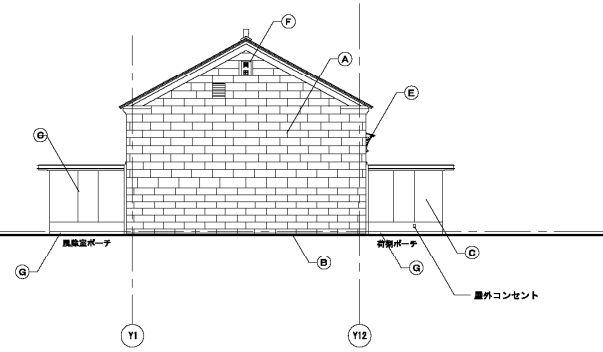
現況内観写真2

旧岡田倉庫（外輪船）の外部整備イメージ①

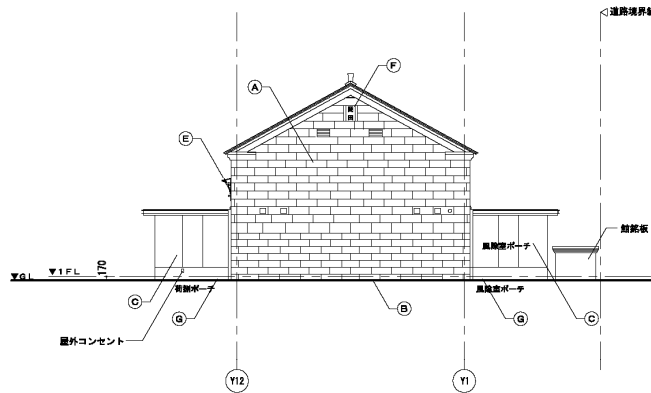
復元



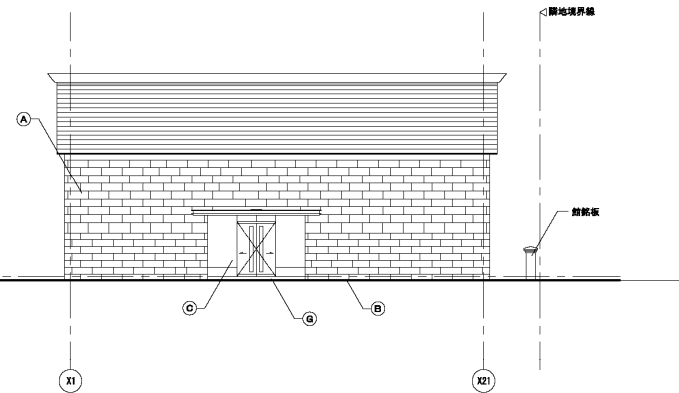
北側立面図 1/100



東側立面図 1/100



西側立面図 1/100

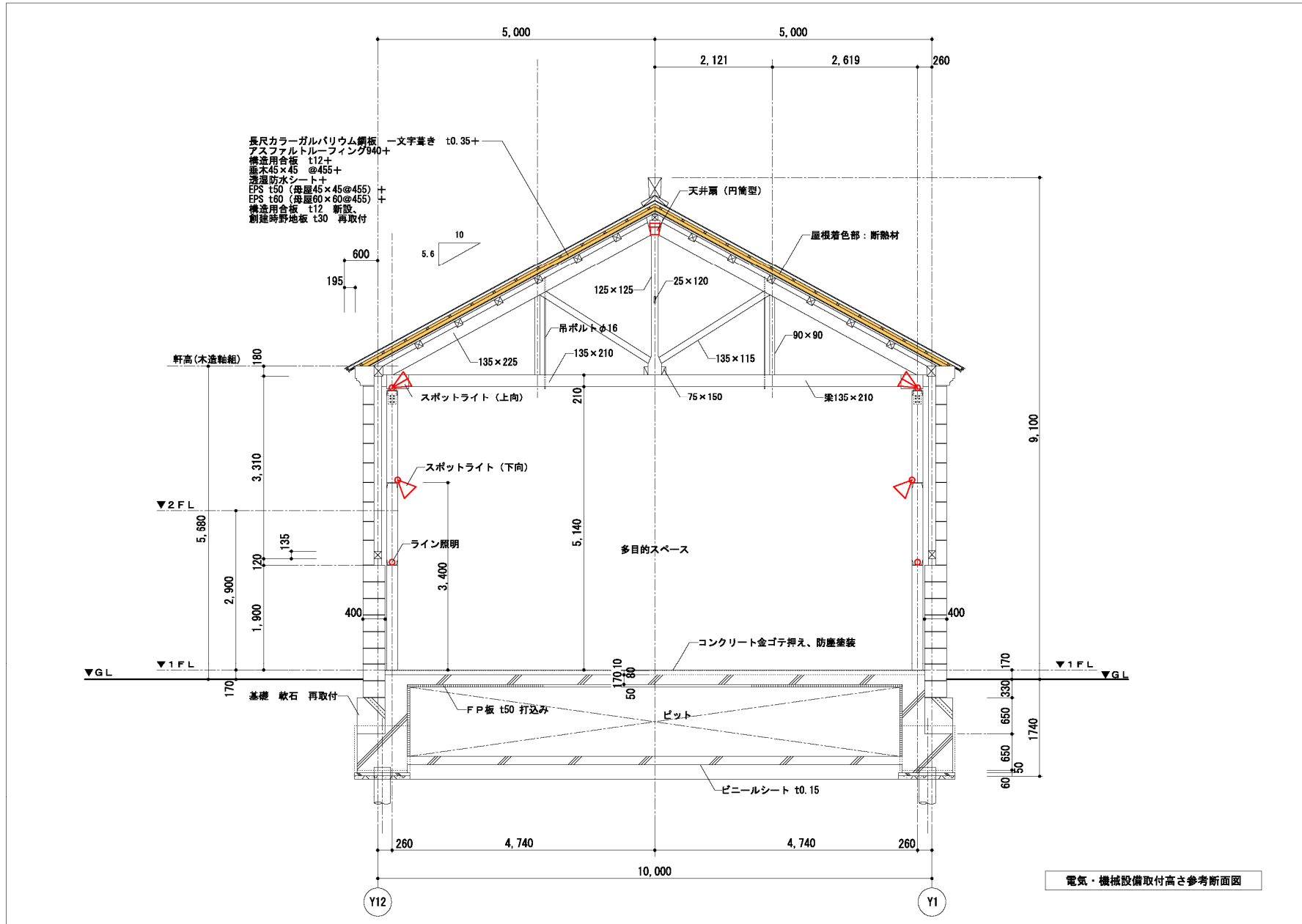


南側立面図 1/100

(A) 外壁 軟石積み（モルタル目地）	(F) 屋根 軟石 420×720		
(B) 基礎 軟石積み（モルタル目地）	(G) コンクリート打放し仕上 撥水塗装		
(C) ガラススクリーン			
(D) 窓枠 軟石			
(E) 化粧紙 鋼板 t2.3 SOP			

- 屋根葺き換内訳
1. 特記なき限り、部材は全て新設する。
 2. 外壁軟石積み及び基礎、窓枠、屋根の軟石は再取付。
 3. 小屋組の野地板、外壁裏の木製軸組は再取付。
 4. 化粧紙は再取付。

旧岡田倉庫 (外輪船) の外部整備イメージ②



旧岡田倉庫（外輪船）の暖房方式

一般名称	A案	B案	備考
暖房方式	FF式ボイラー+床暖房配管 (燃料：灯油または、ガス)	FF式温風暖房機 (燃料：灯油または、ガス)	
イメージ図			
機器イメージ 参考事例等			
意匠性	<ul style="list-style-type: none"> 暖房機器は、収納スペースのみに設置となるため、意匠に与える影響は小さい。 燃料が灯油の場合は屋外に灯油タンクが必要。 燃料が都市ガスの場合はタンクは不要 	<ul style="list-style-type: none"> 多目的スペースに暖房機は露出するが、目隠しパネル等を設置することで、意匠に与える影響を低減可能。 燃料が灯油の場合は屋外に灯油タンクが必要。 燃料が都市ガスの場合はタンクは不要 	○
快適性・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 室温を上昇させるためには長時間の稼働が必要。(冬期間は24時間稼働を想定。) 床面から暖めるため、上下の温度差は比較的小さい。 軟石による蓄熱効果も期待。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的短時間で室温を上昇させることが可能。 暖房機器の近くでは、送風に伴う気流や機器稼働音が不快感を与える可能性あり。 軟石による蓄熱効果も期待。 	○
イニシャルコスト	<ul style="list-style-type: none"> A案に比べコスト大となる。(概算工事費：500万円 灯油・ガス同等) 	<ul style="list-style-type: none"> 検討案中、最もコスト小となる。(概算工事費：150万円 灯油・ガス同等) 	◎
ランニングコスト (想定)	<ul style="list-style-type: none"> 建物が断熱されていないため、室温を上昇させるには燃料消費が増大する。(24時間運転、設定温度15°C) (灯油：270万円/年、都市ガス：370万円/年) 	<ul style="list-style-type: none"> 壁面が断熱されていないため、室温を上昇させるには燃料消費は大となるが、比較案中では安価。(12時間/日運転) (灯油：130万円/年、都市ガス：190万円/年) 	○

ランニングコスト算定条件
・ 暖房期間：10月～4月

凡例：青字＝メリットとなる項目、赤字＝デメリットとなる項目

旧岡田倉庫（外輪船）の照明配置計画

一般名称	A案	B案	C案	備考
照明設備	ライン照明（補強梁上面）：12台 スポットライト（上向）：4台 スポットライト（下向）：10台	ベースライト（中央部分）：10台 スポットライト（上向）：4台 スポットライト（下向）：10台 ライン照明（補強柱側面）：48台	ベースライト（中央部分）：10台 スポットライト（上向）：4台 スポットライト（下向）：10台	
器具配置図				
照明点灯時の簡易イメージ				
意匠性	<ul style="list-style-type: none"> 壁面の照明は、全て補強鉄骨に取付ける計画とし、既存部材を傷めない器具配置とする。 ライン照明により壁面を照らし空間を明るい印象にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 壁面の照明は、全て補強鉄骨に取付ける計画とし、既存部材を傷めない器具配置とする。 中央部のベース照明により全体的に照度を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 壁面の照明は、全て補強鉄骨に取付ける計画とし、既存部材を傷めない器具配置とする。 中央部のベース照明により全体的に照度を確保する。 	○ ○ ○
快適性	<ul style="list-style-type: none"> 平均照度160LX程度となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均照度200LX程度となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均照度200LX程度となる。 	○ ○ ○
イニシャルコスト	<ul style="list-style-type: none"> 比較的安価である。 概算費用（直接工事費）：1,500,000円程度 （材料費：1,200,000円、施工費：300,000円） 	<ul style="list-style-type: none"> 検討案中、最も大となる。 概算費用（直接工事費）：3,050,000円程度 （材料費：2,590,000円、施工費：460,000円） 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的安価である。 概算費用（直接工事費）：1,500,000円程度 （材料費：1,200,000円、施工費：300,000円） 	○ △ ○
ランニングコスト（想定）	<ul style="list-style-type: none"> 比較的安価である。 試算では、30,000円/月程度（12時間/日稼働） 	<ul style="list-style-type: none"> 検討案中、最も大となる。 試算では、40,000円/月程度（12時間/日稼働） 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的安価である。 試算では、30,000円/月程度（12時間/日稼働） 	○ △ ○